

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計			事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名 老人集会所運営			事業番号		011-075	
担当部署名		健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現		
			有	取組の方向性	⑥高齢者の社会参加と生きがい創出の支援					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	目標値	—			
			無	取組	—					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
		無	現状値	—	目標値	—				

2	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 [令和3（2021）～令和5（2023）年度]			
3	事業開始年度	昭和 46 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市立老人集会所条例、堺市立老人集会所条例施行規則、堺市立市民センター条例、堺市立市民センター条例施行規則			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁…施設維持管理 各区…施設運営委託			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	原則として、60歳以上の堺市民	対象数	単位	
			275,000	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	地域の高齢者に対し、教養の向上、レクリエーション等のための身近な活動拠点となる場を提供することで、高齢者の心身の健康の増進を図ることを目的とする。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕・補修などの維持管理は市が行う。 使用申込書の受付などの施設運営は校区老人クラブ連合会等に委託している。 平成12年度以降、新たな老人集会所は整備せず、民設民営の老人集会所への転換を進めている。 			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	校区老人クラブ連合会、校区自治会連合会			
10	公民連携・協働事業	なし			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
11 老人集会所施設数 (年度末現在)	箇所	目標値	23	23	22		
		実績値	23	23			
		達成率	100%	100%			
当該指標を選定した理由		高齢者の活動が活発に行われる環境整備に繋がり、地域福祉の向上に寄与するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		老人集会所から老人集会所への転換には、庁内外との調整に時間を要するため、現時点において転換の可能性があるものを除いた施設数とする。					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
			令和2年度	令和3年度	令和4年度		
12 1施設あたりの延べ利用者数	人	目標値	—	758	801		
		実績値	715	853			
		達成率	—	113%			
当該指標を選定した理由		施設を利用する高齢者の福祉の向上が期待できるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		令和7年度末までに令和2年度実績と比較して、利用者数を1.3倍増加させることを目標とする。 令和2年度実績に基づき計算し、1施設あたり年間43人ずつ増加すると見込む。 計算式：[715 + (43×令和2年度からの経過年数)] 人					

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	老人集会所運営	事業番号	011-075
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	4,586	3,906	3,812	3,293	2,937
13 財源内訳	国支出金				0
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ()				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				0
一般財源	4,586	3,906	3,812	3,293	2,937
14 人件費 (b)	2,430	2,460	2,460	2,460	2,460
15 年間経費(c)=(a)+(b)	7,016	6,366	6,272	5,753	5,397

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R3 決算
16 事業費内訳	施設等修繕料	R3 決算	352	352	老人集会所施設整備工事費	R3 決算	220	220
		R4 予算	200	200		R4 予算	220	220
	防災設備保守点検委託料	R3 決算	273	273	青少年センター内老人集会所光熱水費・施設維持管理負担金(実績払)	R3 決算	314	314
		R4 予算	273	273		R4 予算	400	400
	青少年センター内老人集会所清掃委託料	R3 決算	91	91	研修会等参加負担金	R3 決算	0	0
		R4 予算	106	106		R4 予算	20	20
	樹木伐採・除草等業務	R3 決算	45	45	(区予算)老人集会所運営委託料	R3 決算	1,592	1,592
		R4 予算	46	46		R4 予算	1,592	1,592
	その他保険料	R3 決算	15	15	その他(消耗品、印刷製本費等)	R3 決算	391	391
		R4 予算	15	15		R4 予算	65	65

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		千円	千円
① 老人集会所施設数	施設数	23	23
② 上記①にかかる年間経費	千円	6,366	5,753
③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	276,783	250,130
備考(算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>令和2年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、緊急事態措置期間中は利用を禁止し、利用再開後も活動内容を一部制限しているため、利用者数は減少傾向にあったが、国の感染予防対策に基づき、利用制限の内容を随時見直し(緩和)を行ったことで、利用者数は回復傾向にある。</p> <p>1施設あたりの施設維持に要した経費は令和2年度と比較して10%程度減少し、施設利用者数が回復傾向にあることで、施設活用の観点では、令和2年度よりも費用対効果は改善しているといえるが、令和2年度以前と比較すると、利用者数は低い数値であることから、利用者数のさらなる回復が必要であると考えられる。</p> <p>また、老人集会所については、老朽化したものから順次廃止し、老人集会所へ転換するため、関係課との調整を進め、地元との合意形成を図っていく必要がある。</p>
----	---

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>老人集会所では、地域の高齢者が、囲碁・将棋、体操・ダンス、カラオケ、書道、手芸などの老人クラブ活動等を行う「通いの場」として活用されている。</p> <p>活動を行うことで、フレイル予防、介護予防につながり、結果として、KPIの指標「前期高齢者の要支援認定率の減少」に寄与している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3密を避けるために一部の活動内容を制限することとなり、令和元年度と比較して大幅に利用件数が減少しており、3密対策を取り入れた活動方法の再検討が必要であると考えられる。</p>
----	---